This is supported by Initiative for Realizing Diversity in the Research Environment.
本研究会は令和4年ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）の支援を受けています。
ご関心をお持ちの方（学生可）、どうぞご自由に参加してください。
お問い合わせ：wang.weiting@chiba-u.jp （王）

外国人労働者受け入れのあり方

―日本の政策とその課題

研究会概要

少子高齢化の進展により、日本では労働力不足が恒久的かつ構造的な問題となっています。日本政府は「移民労働者は受け入れない」という大原則を崩しておらず、発展途上国の人材育成に対する国際協力を名目とする「外国人技能実習制度」を流用することによって、実質的には労働力不足に陥っている産業での外国人労働者の受け入れを行ってきました。しかし、制度の建前と運用の実態との乖離は当初から明らかであり、現行の制度のままでは外国人労働者の受け入れが次第に困難になると予想されます。本研究会は、日本の外国人労働者受け入れの歴史のなかに現状を位置づけ、他国と比較しながら、今後の課題と展望を探究することが目的です。

2022.11.25 （オンライン・ 日本語）

開催日時　2022年11月25日（金）

15:30-15:35 開会：王維亭（千葉大学国際未来教育基幹・講師）

15:35-15:55 丸川知雄（東京大学社会科学研究所・教授）
「日本の外国人労働問題の歴史（1980年代から現在）」

15:55-16:15 石戸光（千葉大学大学院国際学術研究院・教授）
「国際労働移動の課題と展望：ASEANの自由貿易協定を事例に」

16:15-16:35 王維亭（千葉大学国際未来教育基幹・講師）
「来日前の技能実習生に対する実態調査
ーベトナム技能実習生送り出し機関での調査を通して」

16:35-16:55 タン・ティ・ミビン（ベトナムハロン大学・講師）
「ベトナムにおける日本技能実習生の日本語教育の現状」

17:00-17:20 周飛帆（千葉大学大学院国際学術研究院・准教授）
「日本における外国人労働者：重層性と＜共生＞の課題」

17:20-17:40 水島治郎（千葉大学大学院社会科学研究院・教授）
「オランダモデルvs. スウェーデンモデル：ヨーロッパ脱工業化時代における労働と移民」

17:40-18:00 ディスカッション
閉会

参加自由
Zoomミーティングに参加する
https://chiba-u-jp.zoom.us/j/6717098328?pwd=ZEVLUHEzbUROek1RcGgxbEdFOTE5Zz09

ミーティングID: 671 709 8328
パスコード: 130061